科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：日本美術史入門 ILAS Seminar :Introduction of Japanese Art History			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　准教授　田中　健一		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	総合研究2号館 第9講義室 (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	美学美術史学 / 日本 / 絵画・彫刻・工芸品 / プレゼンテーション						

[授業の概要・目的]

美術作品はそれを生み出した人や社会とどのように関わるのでしょうか。どのように観察し、どのような問題意識を持てば、作品から人の営みを語ることができるのでしょうか。この授業では日本美術を対象とし、受講者自らが考察対象とする作品を設定して作品研究を遂行し、美術史研究の実際を経験することを目的とします。

[到達目標]

・美術史学の基本的な方法を習得する。
・日本文化に対する理解を深める。
・ディスカッションする力、プレゼンテーションする力をつける。

[授業計画と内容]

授業はゼミナール形式で進めます。資料の収集や分析といった作業、および口頭発表とそれをめぐるディスカッションを行います。受講生には自らの興味関心に基づいて日本美術史から研究対象とする作品を定めて「問い」を設定し、その解明を目指します。
以下の手順で進め、１テーマあたり１～２回の授業日をあてる予定です。授業回数は15回で、最終回はフィードバックです。

1. 日本美術史の研究方法を知る。
2. 研究対象とする作品を決定する。
3. 美術作品を言葉で記述する。
4. 学術論文を捜索し、研究の論点を知る。
5. 設定したテーマに関連する作品を収集する。
6. パワーポイントを作成して研究結果を報告、議論する。
7. 学術論文の形式を備えたレポートを作成する。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

討論への参加（40%）、発表内容（30%）、レポート内容（30%）によって、総合的に評価します。

ILASセミナー ：日本美術史入門(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：日本美術史入門(2)

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業で課題が提示されるので、次回授業までにそれに取り組むことになります。また、テーマとする作品を設定し、授業の最終段階では口頭発表をもとにレポートをまとめます。

[その他（オフィスアワー等）]

毎回出席できることを前提とし、自らの作業・発表だけでなく、他の受講生の作業を見たり、発表を聞いて討論することを重視します。

[主要授業科目（学部・学科名）]